

<外食・中食 調査レポート>

US 朝食マーケット拡大、

朝食機会は 2~3 年で 5%伸長の見込み

外食・中食市場情報サービス『CREST(R) *1』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社(所在地：東京都港区、代表取締役：トーマス・リンチ)は、この度、NPD グループによる US の外食・中食市場のトレンドについての調査・分析を紹介いたします。

■ アメリカ人は朝食が一日で最も大事な食事だと知っている

食機会数は増加の一途

情報調査サービスの世界的なリーディング・カンパニーである NPD グループによると、外食・中食・内食でとる朝食や午前の間食の消費量は、今後数年間で US の人口よりも速く成長すると予測されています。外食・中食・内食の朝食機会の総計は、2019 年までに 5%成長し、予想人口増加率の 4%を超えると見られています。アメリカ人の食行動に関する NPD の継続トラッキング調査によると、外食・中食・内食で一人当たりが年間にとる午前の間食は、この 6 年間で 17%増加しています。

スピード、手頃な価格、テイクアウトの利便性に対するニーズが、従来型クイックサービスレストランにおける朝食や午前の間食を含めた朝の食機会数の伸長を支えています。2015 年 2 月~2016 年 2 月計において、クイックサービスレストランの朝の食機会数は前年同期で前年は 3%増、今期は 5%増加しました。朝食や午前の間食をとる客の増加は、クイックサービスレストランがすべての消費者の潜在的ニーズをつかんでいることを示しています。マクドナルドは朝食人気をうまくとらえて、朝食メニューを終日提供するサービスを開始しました。レストランでの朝食で、伸びているメニューはサンドイッチと、持ち運びしやすいヨーグルトやシリアルバーで、利便性が朝食のキーとなっているのがわかります。

外食の朝食機会が大きく伸長しているものの、大多数の 70%の朝食は家庭でとられています。2015 年の一人当たりの年間朝食回数は平均 361 回で、2010 年と比べ一人当たり 11 回増えています。最近 NPD が公表した世代間調査によると、朝食の誘因となるものは、一般的に利便性、充足、健康的などであるが、こうした要因は世代やライフステージによって変わってくるのが分かっています。家で朝食をとる消費者、とりわけ若者は、卵料理や「伝統的」朝食メニューなど手の込んだ朝食メニューを好む傾向があります。午前の間食として一番人気があるのは、フルーツやヨーグルト、グラノーラバーのような健康に良い食品です。

■ NPD 副社長でフード市場アナリストの David Portalatin のコメント

「朝食が安定して伸びていることは、明らかに食品メーカーや外食産業、食品小売業者にとって好機です。朝食や午前の間食ビジネスに参入する一番の方法は、消費者を誘う要因、ニーズ、欲



求が人口動態、ライフステージ、立場によってどうなっているのかをまず理解し、その情報をもって意思決定を導くことです」

***1. CREST®**

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを、1年365日、直接消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に調査分析できる情報サービスです。(海外各国版もご用意)

詳細 URL : <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

エヌピーディー・ジャパンでは、専門アナリストによる世界各国の市場・消費者トレンドについてのコメントを紹介しています。

より専門的・具体的なデータをご要望の方は、下記よりお問い合わせください。

<https://www.npdjapan.com/contact-us/>

■ 本件に関するお問合せ先

エヌピーディー・ジャパン株式会社

〒108-0074 東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL : 03-5798-7663

FAX : 03-5798-7665

Email : npdjapan.info@npd.com

